

vol. 02

平成30年度 第2号
(年間4回発行 通巻第148号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集

2018年版

中小企業白書のポイント

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. **02**
平成30年度 第2号
(年間4回発行 通巻第148号)

特集

2018年版
中小企業白書のポイント **2**



ダイカテック株式会社 **6**

組合ホットニュース **9**

- ◎東海運株式会社(協同組合物流ネットワーク徳島組合員)
平成30年度 健康づくり推進活動功労者表彰 企業部門を受賞!
- ◎徳島ビルメンテナンス協同組合
「障がい者の就労支援活動に関する協定」を締結!
- ◎半田手延べそうめん協同組合
The乾麺グランプリ2018 半田そうめんがグランプリを受賞!
- ◎協同組合徳島県旅行業協会 理事長 大谷稔 氏
一般財団法人 徳島県観光協会 観光事業功労者を受賞!



情報連絡員レポート **11**

- ◎平成30年8月の景気動向

中央会トピックス **12**

- ◎第70回中小企業団体全国大会(京都府)開催
- ◎県立防災センターで防災訓練を実施
- ◎ものづくり等企業連携交流事業 経営力強化塾を開催

青年部コーナー **15**

- ◎青年部活動トピックス



会津若松城／
海よりもまだ深く **17**



免疫力アップで
インフルエンザ対策!

18

お知らせコーナー **19**

- ◎徳島県最低賃金のご案内
- ◎業界団体向け「価格交渉サポートセミナー」個別開催のご案内
- ◎平成三十年度 生産性向上支援訓練(オープンコース)のご案内

編集
後記



表紙絵

作者:徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル:「丈六寺 三門」

丈六寺は曹洞宗の寺院。山号は瑞麟山。本堂の本尊は釈迦如来。観音堂に設置されている聖観世音菩薩坐象が旧来からの本尊です。

県内の寺院の中では文化財が多く、阿波の法隆寺と呼ばれています。大本山永平寺との間に本寺がない無本寺です。

丈六寺には本堂まで一門、二門、三門まであります。一門は大門とも総門とも呼び中国の僧慧林が書いた瑞麟山の扁額があります。三門は室町時代末期の建造。和洋、禅宗様折衷の二重門で、重要文化財に指定されています。秋には一門から二門、三門に至る参道は見事な紅葉が空を覆います。



◆ 2018年版 中小企業白書の概要

2017年度の我が国経済は緩やかな改善傾向が続き、経常利益が過去最高水準で推移するなど中小企業を取り巻く状況も改善傾向にあります。他方で、改善の度合いは業種や地域によってばらつきがあること、良好な収益環境に比して設備投資に力強さが欠けていること、中小企業が円滑に価格転嫁できるような収益力を十分に獲得できていないこと等の課題も存在しています。なかでも、大企業と中小企業の労働生産性の格差拡大は顕著であり、中小企業の生産性向上は急務であると言えます。

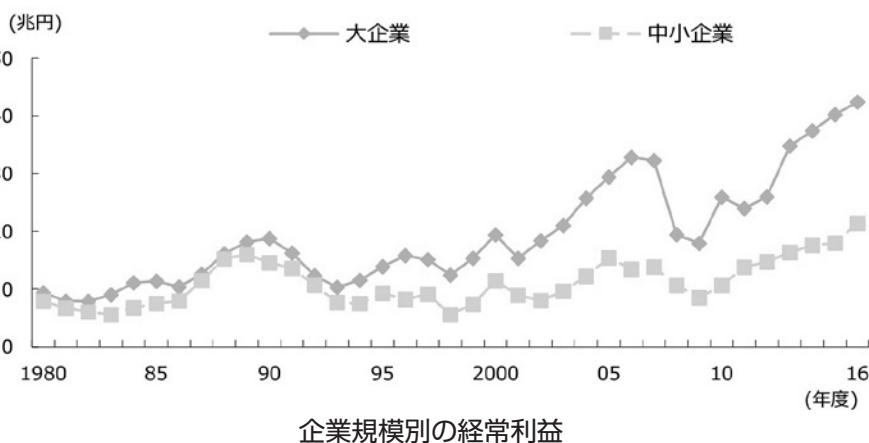
中小企業庁から2017年版中小企業白書が発表されました。2018年版中小企業白書は2部構成となっています。第1部では、最近の中小企業の動向についての分析に加え、中小企業の労働生産性や経営の在り方等について分析しています。第2部では、第1部の分析結果を踏まえた上で、中小企業の生産性向上に向けた取組について分析しています。具体的には、業務プロセスの見直し、人材活用面の工夫、IT利活用、設備投資、M&Aを中心とする事業再編・統合について取り上げています。

本誌では、白書の概要をピックアップしてご紹介いたします。

第1部 平成29年度(2017年度)の中小企業の動向

(1) 中小企業の現状

- ・中小企業の業況判断DIを過去10年間の推移で見ると、中規模企業、小規模事業者とも、2009年に大きく落ち込んで以降、東日本大震災や消費税率引き上げの影響で落ち込みが見られた期間も存在したが、総じて改善傾向で推移している。足下の



2017年は、年間を通じて見ると全ての規模において緩やかな改善基調にあり、リーマン・ショック前の2007年を上回っている。

- ・中小企業の経常利益は過去最高水準。景況感も改善傾向にあり、都市と地域間のばらつきも縮小している。他方、依然として大企業との生産性格差は拡大しており、中小企業の生産性向上が急務となっている。

(2) 下請企業における未来志向型取引の実現に向けた取組

- ・下請Gメンが行ったヒアリングでは、手形払いの現金化等「支払条件の改善」の件数が300件超となるなど、調査全体の約25%の企業で具体的な改善がなされたことが確認された。引き続き、下請中小企業と親事業者の適正な取引を普及定着させるための取組が求められる。

(3) 企業規模別企業数の推移

- ・我が国の企業数の変化を見ると年々減少傾向にあり、2009年から2014年までの間で約39万社減少している。企業規模別に内訳を見ると、中規模企業が約2万社増加している傍ら、大企業は約800社、小規模企業は約41万社減少しており、企業数の減少は小規模企業の減少の影響が大きい。
- ・9つの業種に分けて中小企業数の内訳を見ると、1999年から比較して、ほぼ全ての業種の企業数が同水準で推移する中、小売業に着目すると当初約108万社存在していたところ、2014年には約67万社とおおよそ6割程度まで減少しており、企業数の減少に最も影響を与えている。

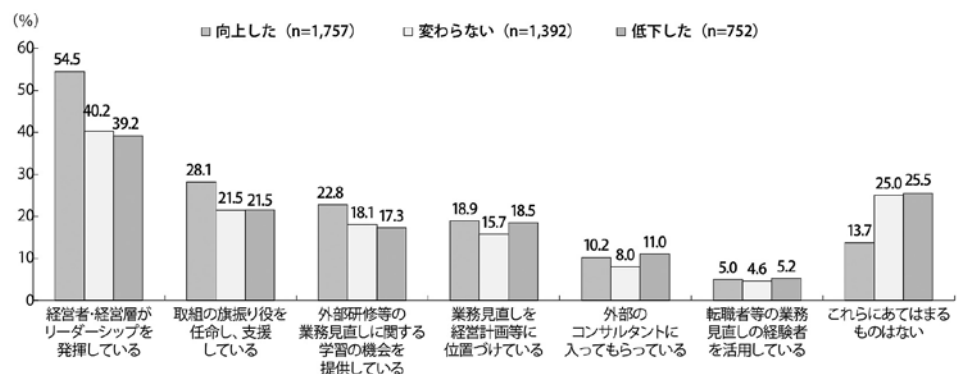
第2部 深刻化する人手不足と生産性向上のための取組

(1) 中小企業における人手不足の現状

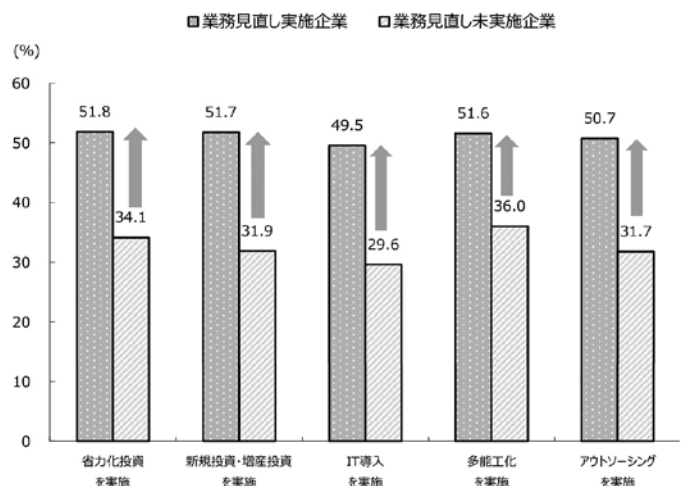
- ・労働人材・中核人材それぞれの不足感を見ると、運輸業の81.9%、建設業の71.4%を始めとして、各業種において労働人材不足を強く感じていることが見て取れる。他方、中核人材においても、「その他」を除く各業種においては、おおむね半数以上の企業が不足感を感じていることが分かる。
- ・各企業が人手不足にどのように対応しているかを見ると、「賃上げ等の労働条件改善による採用強化」が48.1%と最も回答割合が高くなっており、次いで「多様な人材の活用」が46.8%、「従業員の多能工化・兼任化」が41.5%、「業務プロセスの改善や工夫」が36.3%となっている。

(2) 業務見直しによる生産性向上

- ・業務プロセスの見直しについて、中小企業における具体的な取組として最も多く挙げられたのは、「業務の標準化・マニュアル化」の40.2%であり、次いで、「不要業務・重複業務の見直し・業務の簡素化」の40.0%、「業務の見える化」の30.6%の順に続いている。
- ・設備投資やIT導入などの生産性向上に向けた取組は、業務プロセスの見直しと併せて実施することで一層の効果が期待される。業務プロセスの見直しは生産性向上の大前提となる。



3年前と比べた労働生産性別に見た、業務見直しの取組における体制



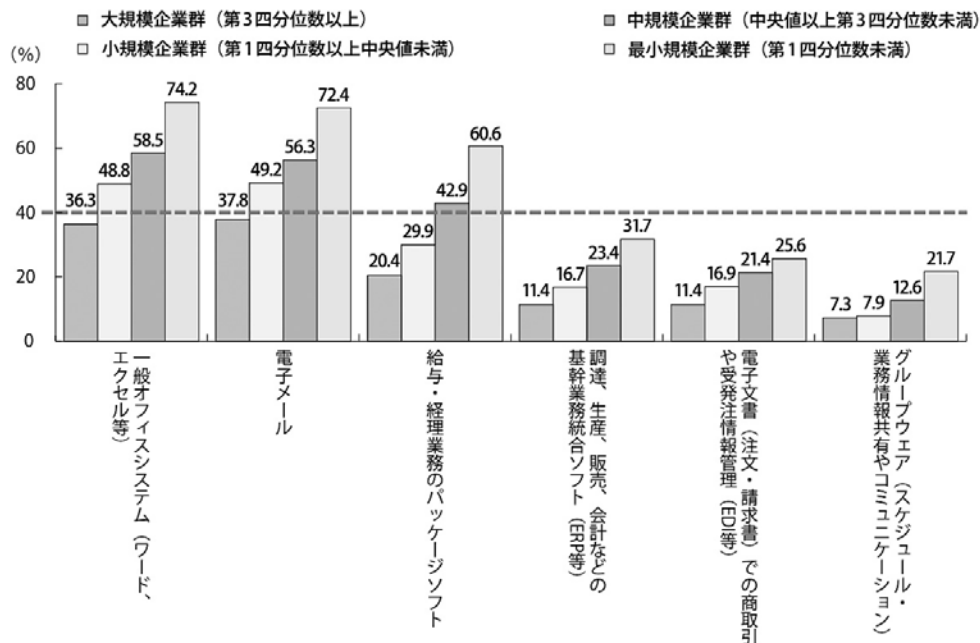
業務見直しの実施有無別に見た、他の生産性向上策により労働生産性が向上した企業の割合

(3) ITの活用による生産性向上

- ・代表的なITツールについて売上規模別に「十分利活用されている」と回答した企業の比率を見ると、どのツールも売上規模が小さくなるほど活用割合も低下している。これらのITツールの中で最も利活用が進んでいる一般オフィスシステムと電子メールであっても、売上の最小規模企業群で

は4割を切る程度の利活用率しかない。中小企業全体でのITツール利活用水準の底上げのためには、特に規模の小さな企業においてIT利活用が進むことが期待される。

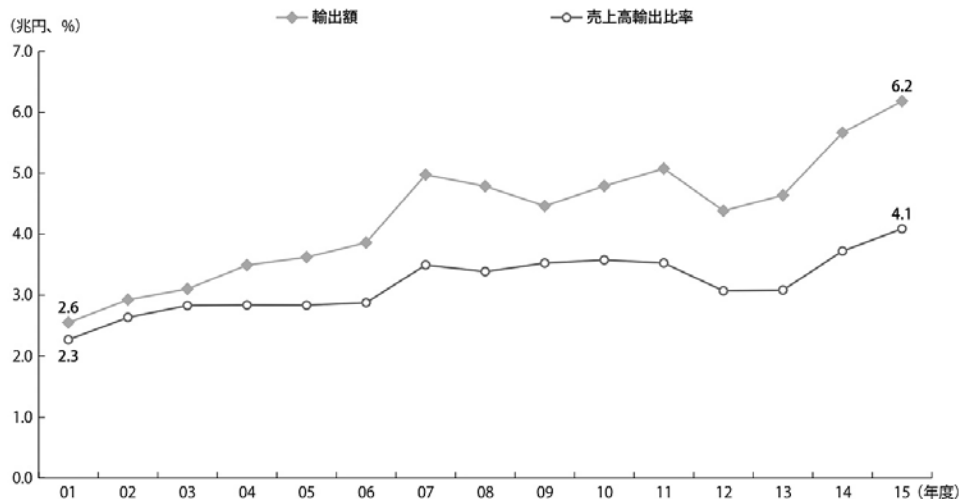
- ・ITの導入・利用を進めようとする際の課題を回答比率の高い順に見ると、「コストが負担できない」と「導入の効果が分からない、評価できない」が約3割と高く、次いで、「従業員がITを使いこなせない」が約2割と続いており、費用対効果と人材面の2点が主要な課題である。



中小企業におけるITツールごとの利活用状況(売上規模別)

(4) 輸出を通じたグローバル化

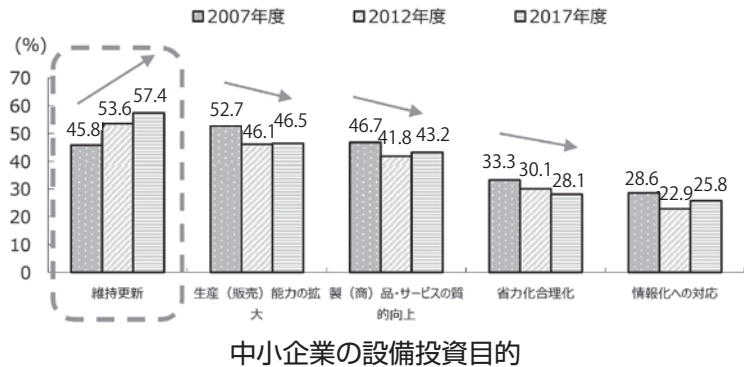
- ・日本の輸出入は拡大のテンポを強めており、主にアジアが牽引している。
- ・中小企業においても、売上高に対する輸出の比率が上昇するとともに、最近は輸出を行う企業の方が業況感が良い。また、輸出企業割合についても緩やかな上昇傾向で推移しており、2015年は21%となっている。
- ・輸出における課題としては、輸出を希望している企業は、現地マーケットをつなぐ優秀なパートナー企業の確保を、実際に輸出を行っている企業は、海外製品との競合激化を最も多く挙げている。海外のパートナーとのつながりと、自社の強みを活かした製品の差別化により、高い付加価値に結びつけていくことが期待される。



中小企業の輸出額・売上高輸出比率の推移

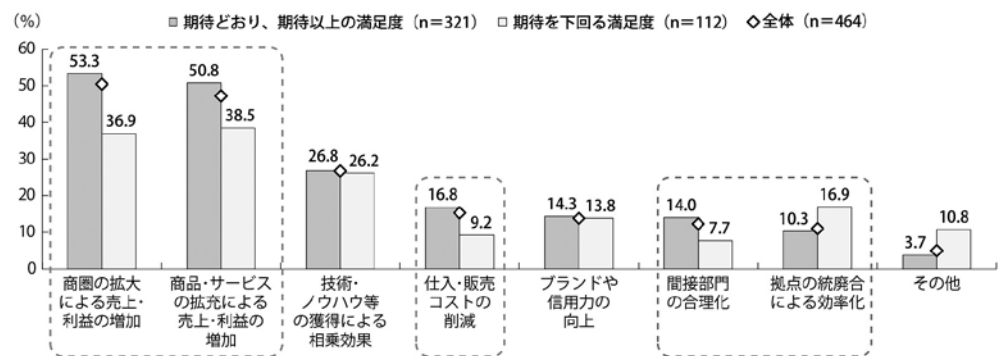
(5) 設備投資による生産性向上

- ・中小企業の設備投資は、製造業について一服感が見られるものの、総じて見れば、製造業、非製造業共に緩やかな増加傾向にある。他方、いずれの業種もリーマン・ショック前の水準には達していない。
- ・足下では設備老朽化等を背景とした維持・更新投資が中心だが、生産性向上に繋がる前向きな投資をより一層促進していく必要がある。



(6) M&Aを中心とする事業再編・統合を通じた労働生産性の向上

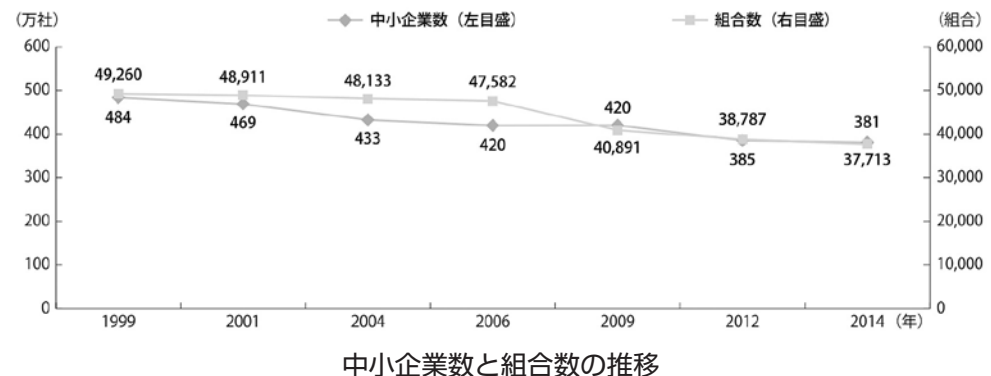
- ・中小企業のM&A件数は増加基調である。売り手企業は60代以上の経営者が多く、事業承継の選択肢としてもM&Aを活用している。一方で、買い手企業の多くは成長戦略のひとつとして検討しており、商圏の拡大や商品・サービスの拡充による売上・利益の増加を通じ、労働生産性を高めている。買い手企業にとっては、既存事業と売り手の事業が相乗効果を発揮することが重要である。買い手側の企業にとっても、シナジーを発揮し、生産性を高める契機となりうる。
- ・M&Aの相手先を見つけたきっかけとしては、金融機関等の第三者からの紹介が多く、マッチング強化が今後の課題となっている。



M&A実施後の満足度別に見た、M&A実施の具体的効果

(7) 中小企業組合の現状

- ・中小企業組合数は中小企業数の減少と同様に減少していることが分かる。
- ・人手不足が深刻化する中で、中小企業が経営基盤を強化し、不足している経営資源を補っていくためには組合組織の活用を改めて検討することも有効であると考えられる。



2018年版中小企業白書は、中小企業庁のホームページで公開されております。
詳細については、中小企業庁ホームページでご参照ください。
<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>



ダイカテック株式会社

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第14回目は平成25年度と平成28年度の補正事業に2回取り組まれた『ダイカテック株式会社』様をご紹介します。同社は平成14年の設立以来、粉体・液体中からの磁性金属を除去するための強力な磁石を組み込んだ除鉄装置の製造や、粉体・液体と金属との界面挙動に注目した諸々の製品を開発するなど極めてユニークな会社です。

この度は、大西賢治社長にお話を伺いました。

1 御社の沿革、特に異物除去装置の製作、販売等に取り組まれた経緯・変遷をお聞かせください。

異物除去装置の製作、販売を業務にしていたダイカ株式会社から独立してダイカテック株式会社を平成14年に設立した経緯には三つの社会情勢があります。

第一に、平成12年のO-157 ウィルスによる集団食中毒がクローズアップされ、HACCP（危害要因分析重要管理点）という管理基準が導入されたことで、人に対する危害の要因として微生物と異物が定義され、製造ラインに異物除去装置が定着したことです。

第二に、半導体業界では、絶縁材料中に混入する微小金属の除去効率の高い装置の開発が要

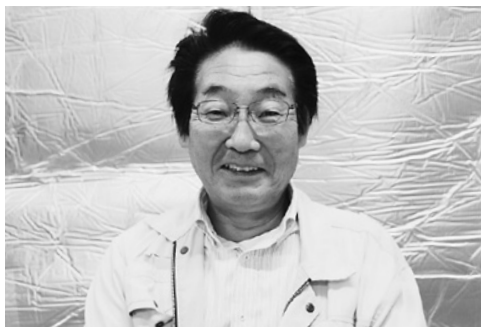
望されており、粉体特性を熟知した除去技術により製品を差別化することのできるノウハウを生かせる市場が生まれたことが挙げられます。

第三に、当時はベンチャー企業に対する支援が盛んで、大学との共同研究や金融機関の支援等が追い風となりました。

2 平成25年度と平成28年度のものづくり事業の内容と成果についてお聞かせください。

2カ年ともF研磨加工をテーマに取り組みました。F研磨加工は、粉体を扱う除鉄装置においてその性能を著しく低下させる粉体の付着や容器内での粉の閉塞対策として、鋼板表面と微粒子粉体との相互作用力を低減する加工技術で、徳島大学との共同研究を経て確立し平成20年に特許を取得しました。

平成25年度事業の「鋼板表面の微細加工技術F研磨の熱交換器への応用による省エネ技術の開発」では、F研磨加工を熱交換器の電熱プレート面に応用するため、実験装置で水の沸騰試験を実施し、その温度上昇速度や沸騰状態に違いのあることを確認しました。現在は熱交換器の実装置で室内実験データを収集してF研磨によ



大西賢治 社長

る省エネ効果を確認中であり、事業化に向けて、使用後の温水熱を再利用できず廃棄している食品メーカーへの省エネ効果に対して熱い期待が寄せられています。



F 研磨微細加工装置

平成28年度事業の「絶縁材料中の微小弱磁性金属除去装置の開発」においては、YAGレーザー溶接機を導入して、除去効率を向上させる、業界最高の磁束密度を有する棒磁石を開発・製作しました。半導体業界において、絶縁材料中に混入する微小金属の除去要望が年々強くなり、除去効率の高い除去装置の開発が求められました。そのため高磁束密度の棒磁石のニーズが高くなり、試験結果においてもその傾向を確認できたため、本事業で取り組みました。

現在は、工場の省力化（人材不足）に今後必須となる製造業のニーズに対応するために、棒磁石を組み込んだ自動制御の除鉄装置の開発に移行しています。



YAG レーザー溶接機



高磁力棒磁石

③ F 研磨を施した特異な表面を持つ製品により、これまでどのような効果・現象がありましたか。

F 研磨を飲料食品容器内面に施すことによって種々の効果・現象が得られています。金属製ビアカップ内面へのF 研磨においては、ビールの泡が均一できめ細くなり、泡蓋が長時間維持でき、且つビールの味をまろやかにできます。その泡の発生状態を目で楽しむことが出来るように金属とガラスの複合容器を試作しています。

ステンレス製コップへ応用して得られる効果としては、①ワイン（味のグレードがアップ）②水の改質（味がまろやか）③日本酒（味が辛口に変化）④苺ムース（味のまろやかさ、色の鮮やかさ）⑤お米（食感がしっかりうまみアップ）⑥お茶・珈琲（苦味がアップ）など変化の要因は明確にできませんが、微細な凹凸が何かを変化させているようです。

このFカップ（F 研磨加工の飲料容器）は、平成30年度の徳島県発明工夫展において「徳島県知事賞」を受賞しました。



ステンレス製コップとビアカップ

④ チャレンジ精神の旺盛な技術者の集団であるようですが、ものづくりについて御社が心がけられていることについてお聞かせください。

ものづくりは、芸術と異なり顧客のニーズにあったものを作ることが基本であり、既に存在する製品であれば、顧客の着目点は価格に絞られます。したがって、いかに顧客のニーズを理解し、顧客の想像を超える提案と工夫を提示し

てご理解頂き、これに顧客の意見（経験と費用対効果）を更に盛り込んで製品化することがものづくりの基本と思っています。このため、作った製品の評価は顧客が行うものであり、同製品を特命受注でリピートを頂いたときに最高の喜びを感じる瞬間です。

顧客のニーズは現状の問題提起であり、過去の事例では解決できないから相談されているのです。逆に言えばニーズに沿う解決の秘訣は、過去の常識に囚われることなく、非常識と思われるような発想から新しいチャンス・開発が生まれるということです。



従業員の皆様

5 御社の今後の展望をお聞かせください。

顧客ニーズ優先の製品づくりを進めてきましたが、顧客の都合に合わせた製品は、その都度設計作業を伴うようになり、コスト面でのメリットを出し辛い環境になっています。現在、新しい機構の装置を試作しており、立会試験によってこの装置の性能を実感して頂き、弊社の製品規格に客先都合を合わせてもらえるような受注形態に移行したいと考えています。

日本の品質管理は優秀であり、近年特に、品



社屋外観

質に対する要求度は増しており、その要求を満たすような装置の開発を進めることで事業の継続を確実なものにできるはずです。その一環として、今後は異物選別と並行して画像処理技術を応用した形状選別装置の開発に取り組みたいと考えています。

【取材を通して】

取材中、終始明るい雰囲気の中で研究・開発にかける思いをお話して下さった大西社長。「ものづくりは、顧客のニーズを理解し、顧客の想像を超える提案と工夫を提示し、製品化することが基本と思っています」と力強く語っておられたのがとても印象に残っています。大学での研究論文の執筆についても取り組まれており、大変刺激を受けました。

施設見学では、F 研磨微細加工装置の稼働の様子を直接拝見することができました。装置の開発及び実験データの収集についてお話を伺うことができ、ものづくり技術の現場を肌で感じて大変感動しました。

当日は、大西社長をはじめ、社員の方々が明るく丁寧に話して下さい、ものづくりを支える活発で元気なチームワークを感じました。

大西社長、この度はお忙しい中快く取材に応じてくださり、ありがとうございました。



企業の概要

- 会社名 ダイカテック株式会社
- 所在地 徳島県徳島市川内町米津 9-1
- 電話 (088)666-0011
- FAX (088)666-0220
- E-mail k_onishi@e-daika.co.jp
- HP <http://www.e-daika.co.jp/gaiyou.html>
- 代表取締役 大西 賢治
- 設立年月日 平成14年
- 従業員数 11名
- 業 種 生産用機械器具製造業



組合ホットニュース

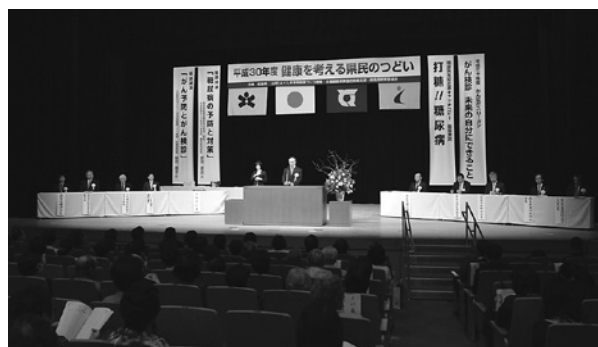
平成30年度 健康づくり推進活動功労者表彰 企業部門を受賞！ 協同組合物流ネットワーク徳島の組合員 東海運株式会社

平成30年9月11日（火）徳島市のあわぎんホール（徳島県郷土文化会館）において、9月の「健康増進普及月間」及び「がん征圧月間」の協調行事として平成30年度「健康を考える県民のつどい」が開催されました。

表彰式典では、健康づくり推進活動に貢献のあった個人と団体と企業に徳島県知事表彰が贈られ、企業部門においては、東海運株式会社が表彰されました。この受賞を機に、さらに一段のご発展ご躍進をご期待申し上げます。受賞おめでとうございます。



企業部門で受賞した東海運株式会社



平成30年度健康を考える県民のつどい

「障がい者の就労支援活動に関する協定」を締結！ ～徳島ビルメンテナンス協同組合～

平成30年8月21日（火）徳島県と県教育委員会、徳島ビルメンテナンス協同組合、一般社団法人徳島ビルメンテナンス協会、社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団は「障がい者の就労支援活動に関する協定」を締結しました。

特別支援学校の生徒や障がい者支援施設の利用者らの就労支援を目的とし、障がい者の一般企業への就職や工賃向上を目指します。協定では、協同組合とビルメンテナンス協会の組合員・会員企業20社が生徒や利用者らの就業体験受け入れに協力するほか、協会と協同組合、事業団が連携してビルメンテナンスに関する技能検定を実施し、障がい者の技能向上を図ります。（詳しくは、徳島ビルメンテナンス協会のHPをご覧ください。）



協定団体代表者と飯泉知事、県教育長



締結式の様子

The乾麺グランプリ 2018 半田そうめんがグランプリを受賞！ ～半田手延べそうめん協同組合～

つるぎ町半田の半田そうめん製造の23事業者でつくる半田手延べそうめん協同組合が、東京・日比谷公園で行われた乾麺の日本一を決める「The乾麺グランプリ 2018」（主催 全国乾麺協同組合連合会・株式会社日本アクセス）に「すだち香る阿波尾鶏と山芋の冷たい半田そうめん」を出品し、グランプリを受賞しました。

大会は全国の製麺会社や食品メーカーなど21社が4部門にオリジナルメニューを出品し、来場者がお気に入りの一品に投票して得票の多さを競い、半田手延べそうめん協同組合は1,379票を獲得し全部門のトップであるグランプリを獲得しました。

メニューは組合員が考案したもので、高級手打ち麺用の小麦粉を使ったオリジナルブランド「半田素麺入魂」に、阿波尾鶏の照り焼き、温玉、ねぎ、すりおろした山芋及びすだちを添えたものです。半田そうめん特有の強いこしやすだちの清涼感、阿波尾鶏のジューシーさをバランスよく楽しめると評価されました。



参加された組合員の皆様



グランプリ受賞の様子

一般財団法人 徳島県観光協会 観光事業功労者を受賞！ 協同組合徳島県旅行業協会 理事長 大谷稔 氏

平成30年7月31日（火）徳島市のアスティとくしま（徳島市山城町）において、一般財団法人徳島県観光協会賛助会員合同会議が開催されました。

会議では、観光振興に大きな貢献が認められる者又は団体が表彰され、観光事業功労者においては協同組合 徳島県旅行業協会の理事長 大谷稔氏が表彰されました。この受賞を機に、さらに一段のご発展ご躍進をご期待申し上げます。受賞おめでとうございます。



観光事業功労者として表彰された大谷稔理事長



一般財団法人徳島県観光協会賛助会員合同会議

平成30年8月

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

板金・解体・電気工事業では仕事の受注が順調であり、貨物運送業においても飲料品関係の荷動きが堅調であった様子。また印刷業や食品製造業においても、出荷量・受注量が少しずつ上向いてきたとの明るい報告も寄せられた。

一方、慢性化する労働力問題をはじめ、依然として続く原材料高や軽油価格の上昇に加えて、猛暑や台風の影響による売上高の伸び悩みを嘆く声も寄せられた。

景気は緩やかな回復が続いていると言われているものの、米国に端を発する貿易摩擦懸念や、緊迫する国際情勢が国内外経済の下振れリスクを残存させており、先行き不透明な状況に変わりはない。県内中小企業においても、今後の景気動向を注視していく必要がある。

《製造業》

《食料品》

【味噌】前年同月比みその生産量は98.0%、出荷量は100.3%となり上向き。しかし主要原材料の米の価格は国内産、米国産とも高値で推移しており依然コスト高である。

《繊維・同製品》

【縫製】外国人技能実習に関して、新制度の体制整備が不十分(日本国と外国との認識の相違である)煽りを受けて、3号の入国がスムーズに進まなかったため、生産性に影響が出ている。

《木材・木製品》

【木材】原木入荷量は依然少なく、価格は強含みに展開しているが取扱い数量が前年比5%前後減少している。合板、製紙用木材等の需要は旺盛であるが、一般建築製品需要は厳しい状況が続いている。

【製材】一部に災害復旧の需要があるものの、依然として製材品の動きが悪く、厳しい状況が続いている。今後の秋需に期待するしかない。

【木材】業界的には非常に落ち込んでいる。来年、消費税が上がるというのに、カケコミ需要もなし。

《印刷》

【印刷】8月はもともお盆などで休みが多く、稼働日数が少なく売上の上がらない月である。全国的に話題となった阿波踊りだが経済的にはマイナスに働いた模様。

【印刷】春以降業況は良くないようだが8月になり若干受注が上向いてきたようだ。少しずつではあるが運賃の値上げを商品価格に転嫁することに了解を得られる様になってきた。

《窯業・土石製品》

【生コン】8月も昨年同月に比べて約15%以上の出荷量が減少しており、昨年度と比べて5ヶ月連続のマイナスである。原因としては、お盆休みで出荷日が少ないことと、工事の減少があげられる。

【生コン】8月の出荷数量は、対前年同月比5%の微増となった。要因としては、出荷数量が前年同時期と比較して高温時期が続き官民での新規新設工事が少なかった事が影響している。

《鉄鋼・金属》

【鉄鋼】業況に大きな変化はないものの、一部売上や引き合いの増など、景況感の改善の兆しも見受けられる。引き続き原材料価格の上昇、人材の確保にも苦慮している。

【ステンレス】引き続き大手を中心に設備投資が行われているが、国内外ともに目立った大きな変化はない。

《一般機器》

【機械金属】全体として、景況感に大きな変化は見られず、売上高や引合いなど良好な水準を維持している。引き続き、従業員の確保難をはじめ、原材料の不足、原材料価格等の上昇などが、直面する経営上の課題。

《非製造業》

《卸売業》

【食糧卸】30年産の作況が心配。

《小売業》

【機械器具】本年の天候不順により、全国的な売上減少が見られる。

【ショッピングセンター】売上高は全店計94.3%(既存店96.9%)、客数は92.5%(93.6%)。これで30坪以上の売場が4店舗空きとなった。退店がある毎にリーシング活動を行っているが、なかなか進んでいない。最大の課題は「空き店舗対策」になっている。

【プロパンガス】先月に引き続き、消費機器の交換期限が迫っているため、期限切れの無いよう、順次交換を行い、保安点検に努める。

【電気機器】エアコン・冷蔵庫等、季節商品の買換えも一段落し、昨年と同様のペースに戻った。

【量小売業】8/10まで一般家庭の仕事はきわめて少ない。暑さのせいだと思われる。盆休み明けも低調。

《商店街》

【徳島市】徳島の祭り、阿波おどりも今年は不評が多く、それに伴い人混みもなく低調。また異常ともいえる暑さで人の動きは更に厳しく、各タイイベントをにかけているがサービス業などは動きが最悪だった。

《サービス業》

【土木建築業】平成30年度業務件数は29年度同様に受注。

【自動車整備】売上高、収益状況ともに例年並み。8月はお盆休み等で稼働日数が少ないため1年間で最も売上が落ち込む時期。

【旅行業】8月は台風などの影響でキャンセルが多く、また猛暑が続いたこともあり、お客さんの動きも鈍かった。

《建設業》

【建設業】西日本建設業保証(株)徳島支店によると、8月末の公共事業の統計データでは、請負額ベースで562億円、対前年比11.2%増となっている。これは、大型工事の発注があったためであり、地元企業の景況感は悪い。

【鉄骨・鉄筋工事業】暑さ、盆休み等で若干「操業度」が落ちているが、ほぼ前月と同じ。

【板金工事業】仕事量は順調に続いている。

【電気工事業】新設住宅口数は312件であり、対前年比193.7%と大幅に増加した。

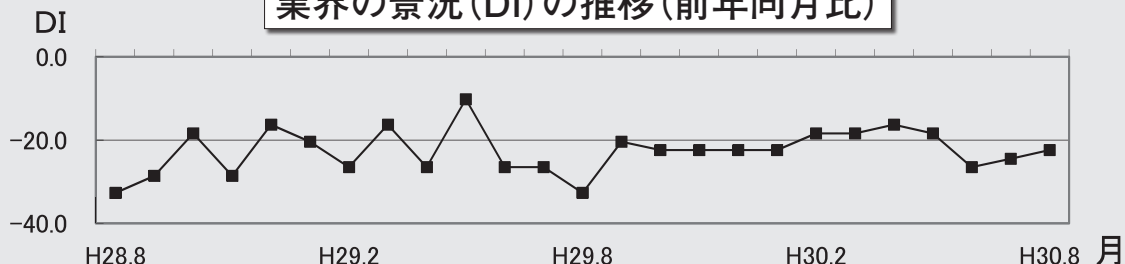
【解体工事業】戸建ての住宅の解体案件が多くなっている。木造の解体工事業の新規参入が増えてきている。

《運輸業》

【貨物運送業】飲料品関係は、全国的な猛暑で飲料品を中心に増加。生鮮野菜は荷動きが少なく、前年よりも低調。軽油単価は、海外の市況を受け値上がり。今後も値上がり基調である。

【貨物運送業】軽油価格が上昇を続けている。さらに大雨、台風による被害や運行不順によりコストがかさみ、事業者を悩ませている。

業界の景況(DI)の推移(前年同月比)



※DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



中央会トピックス

第70回 中小企業団体全国大会(京都府)開催 ～明治150年 歴史と文化、地域を支える中小企業が未来を拓く～



第70回 中小企業団体全国大会

平成30年9月12日(水)、京都府京都市「上七軒歌舞練場、西陣織会館」において、第70回中小企業団体全国大会(主催:全国中央会・京都府中央会)が盛大に開催されました。

政府をはじめ関係各方面より多数の来賓を招き、全国の中小企業団体の代表者約2,000名、うち本県から31名が参加して、「豪雨、台風、地震等各地で発生した自然災害に対する対策の拡充」、「中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化」及び「中小企業組合・中央会等に対する支援の強化」など16項目が決議されました。

これと併せて、本大会では、優良組合(39組合)、組合功労者(73名)、中央会優秀専従者(21名)の表彰が執り行われました。今回当県からは優良組合として協同組合物流ネットワーク徳島、組合功労者として柔道整復師会協同組合 専務理事 中本ユミ子氏が表彰の荣誉に輝かれました。

◆優良組合表彰◆

協同組合物流ネットワーク徳島



理事長:湯浅 恭介氏
平成3年5月21日設立
主な共同事業:共同求荷及び求車に関する情報の提供及び斡旋

効率的で地球に優しい物流を念頭に、荷主に安定した物流を提供するため、各種活動を展開してきた。なお時代の変化に伴う荷主の厳しい要請には、トータルコストダウンに結びつく共同配送による物流効率化を実現するネットワークで対応し、質の高い物流で不動の地位を確立する。またトラックを使用した交通安全活動などの社会貢献活動を実施し、業界の発展と地域振興に寄与している。

◆組合功労者表彰◆

柔道整復師会協同組合 専務理事 中本 ユミ子氏



組合設立当初より、組合の重要な事業である組合員のレセプト資料の計算業務を、組合で集中して処理する強固な体制の整備に努め、短納期で高品質な事業へと成長させる。また女性の従業員比率が高い職場ならではの調整役として奔走し、作業効率の高い、働きやすい職場環境の実現に努めた。なお平成29年当会の常任理事に就任し、県内の組合及び中小企業の発展・振興に大きく貢献している。

第70回中小企業団体全国大会決議【概要】

全国中小企業団体中央会

背景・目的

地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者は、直面する多様な課題に前向きに対応していくには、個々の自助努力だけでは限界があるため、中小企業組合をはじめとする連携組織での取組みが重要である。
組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮して、中小企業・小規模事業者が協同することで足らざる経営資源を補完・補強し合えるよう積極的かつ多面的な支援活動の展開により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者の力強い成長と発展を支援していく。

I. 経済の好循環を実感できる中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化

1. 中小企業・小規模事業者対策の加速化

- ・中小企業・小規模事業者予算の拡充
- ・地方創生交付金の拡充及び恒久化
- ・消費税率引上げ対策

2. 生産性向上・経営力強化に対する支援の拡充

- ・ものづくり等補助金の基金化
- ・IoT等による革新的技術の支援強化
- ・ものづくり等の人材育成支援の拡充
- ・下請法執行強化

3. 事業承継・後継者育成支援の拡充

- ・事業承継支援策の拡充と活用促進
- ・中小企業組合を活用した後継者育成強化

4. 中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充

- ・中央会に対する予算措置の拡充・強化
- ・中小企業組合課題解決支援事業の創設等
- ・地場産業及び伝統的工芸品組合支援策の拡充
- ・企業組合活用支援策等の改善・強化
- ・中小企業組合制度の見直し・運用の弾力化

II. 地域活性化を担う中小企業・小規模事業者に対する支援の拡充

1. 官公需対策の強力な推進

- ・中小企業と官公需適格組合への受注機会の拡大

2. 海外展開に対する支援の拡充

- ・海外市場への販路開拓支援の拡充

3. まちづくりの推進、中心市街地の再生支援

- ・コンパクトシティの実現に向けた支援の強化
- ・魅力ある「まちづくり」の推進
- ・商店街等の活性化に対する取組み支援の拡充

III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

1. 震災、豪雨災害に対する復旧・復興の更なる推進

2. 福島復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施

3. 地域の防災・減災対策の強化と国土強靱化の推進

IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充

- ・中小企業の資金調達の円滑化
- ・成長戦略を実現するための金融支援の実施

2. 中小企業・組合税制の拡充

- ・中小企業・組合関係税制の強化
- ・事業承継税制の拡充
- ・消費税対策の継続・強化
- ・事業者の税負担軽減措置の継続・強化

3. 中小製造業等の持続的発展の推進

- ・公設試験研究機関への技術開発支援
- ・電力等エネルギーの安定供給等
- ・省エネ・新エネ・環境対応への支援

4. 卸売・小売業、サービス業、流通・物流業に対する支援の拡充

- ・卸売・小売業に対する支援の向上
- ・サービス業対策の支援の拡充
- ・流通・物流業対策支援の強化

6. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保障対策の推進

- ・働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
- ・中小企業の人材確保・定着対策
- ・地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
- ・外国人技能実習制度の円滑化と拡充
- ・専門的・技術的分野の受入れ
- ・雇用保険制度の見直し
- ・障害者雇用への中小企業支援策の拡充
- ・国による職業訓練機能の拡充・強化
- ・社会保障制度等の見直し

5. 中小企業の実態に応じた独禁法の執行

- ・優越的地位の濫用に係る独禁法の執行強化
- ・独禁法の審査手続きにおける事業者の適正手続き保障
- ・独禁法の課徴金制度の見直し

なお、次期全国大会は、平成31年11月7日（木）、鹿児島県において開催することが決定し、大会旗が大村会長から小正芳史氏（鹿児島県中央会会長）へ継承されました。その後、高田担史氏（中小企業基盤整備機構理事長）のかけ声で万歳三唱の後、閉会となりました。



次期開催地である鹿児島県中央会
小正会長に大会旗継承

【前号のお詫びと訂正】

「組合活性化情報」147号32ページの中央会トピックス「平成30年度 通常総会開催」におきまして、懇親会の中締めをしていただきました日本政策金融公庫 徳島支店長 古永義尚 様の名字について誤りがございました。ご本人並びに関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

〈正〉古永義尚 様 〈誤〉吉永義尚 様

徳島県中小企業団体中央会 県立防災センターで防災訓練を実施



地震体験

平成30年9月6日（木）、中央会BCP訓練として徳島県立防災センターで防災訓練を実施しました。防災体験ツアーとして、下記内容を体験しました。

- ・震度5強及び震度7の揺れ再現の地震体験
- ・災害事例をスクリーン映像で学ぶ防災ガイダンス
- ・消火器を使って初期消火を防ぐ消火体験
- ・煙の充満した暗い室内を避難する煙体験
- ・真正面からの風速30メートルの強風体験

実際に震度7の揺れや煙を体験することで家庭での家具の固定の見直しや避難路の確保について、日頃から準備しておく意識付けにつながりました。



消火体験



強風体験

ものづくり等企業連携交流事業 経営力強化塾を開催



会場風景

平成30年8月30日（木）と9月12日（水）の13時30分より、徳島経済産業会館3階会議室において、経営力強化塾を開催しました。伊勢中小企業診断士を講師に招き、1日目は経営力向上計画及び先端設備等導入計画作成のポイント・申請書の書き方について、2日目は経営革新計画作成のポイント・経営革新計画の立て方及び申請書の書き方について詳しく説明されました。また、人材育成、コスト管理などのマネジメントの向上や設備計画など自社の経営力を向上するためにどのように計画を立てるかなど実践的な内容もあり、参加者からは、「大変わかりやすい説明で勉強になった。」との感想をいただきました。



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇ 平成30年度 徳島県中小企業青年中央会 第3回 役員会 ◇

平成30年8月29日（水）、徳島県中小企業団体中央会 会議室に於いて「平成30年度徳島県中小企業青年中央会 第3回役員会」が開催され、以下の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

- 第1号議案 全国中小企業青年中央会通常総会の報告事項について
- 第2号議案 平成30年度組合青年部研修・研究会事業の申込状況について
- 第3号議案 平成30年度リーダー研修会の開催内容について
- 第4号議案 商工3団体次世代プロジェクト会議事業内容説明について
- 第5号議案 その他
 - (1) 平成30年7月豪雨並びに大阪北部の地震に伴う支援金募集について
 - (2) 青年中央会の出張関係について
 - (3) 全国青年中央会全国総会打上会について
 - (4) 青年中央会の会員加入促進について

青年中央会では新規会員加入促進に向けて、組合青年部等へ訪問していきますので、よろしくお願い致します。

◇ 徳島商業高等学校との包括業務提携事業 ◇

今年度も、徳島県立徳島商業高等学校において、J i m d oを活用したホームページ作成支援事業が実施されています。実施対象として8件の企業が選ばれ、それぞれに徳島商業高等学校の生徒スタッフが専属で数人体制のチームを作って、ホームページ作成にあたっています。クライアントの要望を反映したホームページにするため、各社と綿密な打ち合わせを行っていました。



HP設計のため、徳商で打ち合わせの様子

◇ あわとーくを開催しました！！ ◇

平成30年9月8日（土） ろうきんホール（徳島市南末広町23-64）において、あわとーく（企業と学生の交流会）を開催しました。包括業務提携を結んでいる中央テクノスクールと徳島商業高校の学生等から65名の申し込みがあり、UBA（青年中央会）、YEG（商工会議所青年部連合会）、Impulse（商工会青年部連合会）から24社が参加しました。また、集まった学生を和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作るためアイスブレイキングを行い、自己紹介や簡単なゲーム等を紹介して緊張をときほぐしました。雰囲気が良くなった後、各社趣向を凝らしたフリートークで大いに盛り上がりました。参加した学生からは「とても楽しかった。このような機会があれば次回も是非参加したい。」「色々な話が聞けて、働いてみたいと思いました。」などの嬉しい意見を沢山頂きました。



株式会社渡辺鉄工所



徳島県自動車整備商工組合青年部



鳴門美装株式会社



あおき製作株式会社



有限会社後藤田電器



参加企業経営者と学生の交流の様子

★今後のスケジュール★

- 四国ブロック交流会(平成30年10月16日 愛媛県)
- 徳島県商工3団体青年部 防災施設視察(平成30年10月25日、26日 東京都)
- 平成30年度組合青年部全国講習会(平成30年11月9日 栃木県)
- 徳島県商工3団体青年部 四国トップ会議(平成30年11月中旬 愛媛県)

日本全国 名城めぐり



「会津若松城」

所在地：福島県会津若松市追手町1-1

築城種類：平山城

築城年代：至徳（元中）元年（1384）、
文禄元年（1592）、寛永16年（1639）

築城者：葦名直盛、蒲生氏郷、加藤明成

天守の現況・形態：層塔型 五重五階 鉄筋コンクリート造（再建）



会津若松城は、室町時代の初め、葦名直盛が東黒川館を築いたのが始まりとされています。その後、蒲生氏郷が豊臣秀吉の命令で会津を治め、文禄2年（1593）、七重の天守閣を築きました。慶長16年（1611）には、会津地方を大地震が襲い、石垣や天守閣は大きく傾いてしまい、寛永16年（1639）に新城主となった加藤明成により天守閣の規模を五重に縮小し再建されました。その後寛永20年（1643）、保科正之が入り、以後、会津松平家の居城となりました。

戊辰戦争では、会津藩は新政府軍との戦いにおいて、1か月も籠城に耐え、難攻不落の名城と称えられましたが、明治7年（1874）、建物はすべて解体され、現在の天守閣は、昭和40年（1965）に再建され、平成13年（2001）には天守に続く建物「千飯櫓・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元されました。

最大の特徴は、真っ白な城壁に平成23年（2011）に葺き替えられた赤瓦が印象的な天守閣です。日本で唯一の赤瓦をまとった天守閣は、とても雄大で、全国の城郭の中でも屈指の美しさを誇ります。

また、桜の名所としても有名で、夜にはライトアップされ、桜が幻想的に輝く絶景が見られるため、春にも訪れてみたい城です。

（崇）

映画の 日々

「海よりもまだ深く」

2016年日本公開 上映時間：1時間57分

監督、原案、脚本：是枝裕和 音楽：ハナレグミ

出演：阿部寛、真木よう子、樹木希林、小林聡美、リリー・フランキー、
池松壮亮、吉澤太陽、橋爪功、中村ゆり、高橋和也 他

先日75歳で亡くなられた樹木希林さんを偲んで、今回は是枝裕和監督作品『海よりもまだ深く』を紹介합니다。

『海よりもまだ深く』という言葉は、テレサ・テンの歌『別れの予感』に出てきます。この歌は去って行く男を必死でつなぎ止めようとする女の姿を描いています。劇中『別れの予感』がラジオで流れる場面で、阿部寛演じる良多の母親である樹木希林が「海よりも深く好きになったことなんて無いから生きていける」という名台詞を放ちます。この台詞は、自分の思うようにはならない人生だけど、人やモノへの執着を捨てれば、自由に楽に生きることが出来るかもしれないという意味にとれます。

実生活での樹木希林さんは、夫である内田裕也さんを死ぬまで愛し抜き、執着し続けたように見えます。執着を捨て楽に生きるのか、執着し続けて苦しみ続けながらも海よりも深い愛を選ぶのか・・・どちらが幸せかは人それぞれでしょうが、今気楽に生きている私にとっては、苦しみ抜いて深く愛する樹木希林さんの生き様に憧れます。

（典）



～免疫力アップで インフルエンザ対策！～



インフルエンザ対策のポイント

症状を悪化させない対
策

+

感染を防ぐ対策

1. まずは免疫力チェック！ 最近の 自分を振り返ってみましょう

☐ 朝食を食べていない
☐ 野菜類を食べていない
☐ 偏食がある
☐ 睡眠不足である
☐ ストレスが溜まっている
☐ あまり運動をしない
☐ 最近、大笑いをしていない
☐ タバコを吸っている
☐ 口内炎や口唇ヘルペスを繰り返して発症している。

上記のうち、1つでも当てはまる方は、免疫力が低下しやすく、ウイルスに感染する恐れがあります。生活習慣を見直してみましょう。

免疫力を高めるおすすめ朝食



トースト
またはご飯



野菜、
オムレツ



果物



牛乳または
ヨーグルト

納豆や味噌汁、野菜ジュースなどもおすすめです。

まだまだ暑い日が続いているのに、インフルエンザ！と思われるかもしれませんね。たしかにインフルエンザの発生そのものは、例年12月から3月頃に流行しますが、予防のためのワクチン接種の効果があらわれるまで、接種後2週間程度かかります。そう考えると10月は、「インフルエンザ対策」を始める時期なのです。

しかも今年の夏は、気温も湿度も高い日が続き、体力や免疫力が思った以上に消耗しているかもしれません。今のうちに体のメンテナンスをしっかりとこなしておくことも大事な対策ですね。

2. 自分の「心がけ」と周囲への「気配り」 でウィルスをシャットアウト

- 手洗い・うがいをしましょう。手洗いは石鹸を使って15秒以上、流水で念入りに。
- 清潔な手で口・鼻・目を触るようにしましょう。ウイルスが付着した物に触れた手などから感染することがあります。
- 体調があまり良くないときなどは、人ごみをなるべく避けましょう。
- インフルエンザにかかったら、なるべく外出は控えましょう。熱が下がっても発症から7日間ぐらいいは、周囲に感染する可能性があります。
- 咳エチケットで、飛沫の拡散防止。マスクを忘れずに。
- 咳やくしゃみの際は、他の人から顔を背け、1～2m以上は離れましょう。

3. 流行前にインフルエンザワクチ ンを接種しましょう

「ワクチン接種をしたから、インフルエンザに感染しない」ということではありませんが、体の中に侵入したウイルスが増殖して（感染）、発熱や喉の痛みなどの症状が発生するのを防いだり、症状を軽くする効果があります。

秋は、読書しながらゆっくり過ごしたり、早めに就寝するなど、こころとからだのメンテナンスをしましょう。

全国健康保険協会（本部）

〒102-8575 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル9F

ホームページ <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

※本コーナーは全国健康保険協会のホームページから引用しております。



お知らせコーナー

～徳島県最低賃金のご案内～

徳島県最低賃金 時間額 766 円 発効日は平成 30 年 10 月 1 日から

特定の業種には徳島県最低賃金より高い最低賃金が定められています。

※お問合せ先は、徳島労働局労働基準部賃金室 TEL 088-652-9165 まで

～業界団体向け「価格交渉サポートセミナー」個別開催のご案内～

(公財) 全国中小企業取引振興協会では、経済産業省中小企業庁の委託を受け、下請取引の適正化の推進を図ることを目的とした「下請かけこみ寺」事業を行っています。

同事業の一環として、業界団体様向けに、下請等中小企業の皆様が取引先との価格交渉を行う際、あらかじめ知っておくべき基本的な法律の知識、トラブル等について、分かりやすく説明するセミナーを個別に開催しております。

(1). 開催日時及び講習時間

①開催日時：平日（月～金）（年末年始、国民の祝日を除く）、原則として 10 時～ 16 時

②講習時間：2 時間

(2). 講習内容：「価格交渉ハンドブック」及び「価格交渉事例集」の解説

(3). 受講対象者：主として貴団体の会員企業

(4). 人数：概ね 20 人以上。これより少ない場合はご相談ください。

(5). 講師：当財団で選定・手配し、概ね開催 1 ヶ月前にご連絡いたします。

(6). 開催会場

貴団体で選定してください。設営につきましては、演台、マイク、ホワイトボードを準備してください。

(7). 使用テキスト

中小企業庁が公表した 2018 年 3 月改訂の「価格交渉ハンドブック」及び「価格交渉事例集」を使用します。テキストは当財団が準備し、開催 1 週間前を目途に、受講者人数分プラス 5 セットを指定場所にご送付いたします。

（当日使用する次第、ハンドブック、事例集、アンケートを封入した封筒をご送付します。）

(8). 当日の運営

当日の司会等運営につきましては、貴団体をお願いします。別途、司会用シナリオを送付します。

(9). 受講者名簿

受講者名簿（参加者氏名、会社名、役職名、郵便番号、住所、電話番号、資本金、従業員数を記載）を、開催 10 日前を目途に当財団にご送付ください。

(10). アンケート

テキストとともにご送付させていただきますアンケートにつきましては、セミナー終了後に回収していただき、当財団にご返送願います。集計は不要です。

(11). 費用の負担について

講師謝金、講師旅費、使用テキストにつきましては、当財団で負担させていただきます。

なお、会場借料、会場備品代（演台、マイク、ホワイトボード、冷暖房代等）につきましては、原則貴団体でご負担をお願いします。

(12). その他：1 社が単独で自社の従業員向けに行おうとする場合は、対象になりません。

【問い合わせ先】

(公財) 全国中小企業取引振興協会 価格交渉サポートセミナー

TEL：03-5541-6688、FAX：03-5541-6680

申請書、募集要項は、協会ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

平成三十年度生産性向上支援訓練 (オープンコース)のご案内

Q. 生産性向上支援訓練とは？

A. 企業の生産性を向上させるための職業訓練です。オープンコースは、広く受講者を募集して実施する訓練で、他社の従業員と共にグループワーク等を行うことで、自社の強みや課題の気づきに繋がります。

コース紹介

「品質管理実践」 11/6、13

【基本項目】

1. 不良化ゼロ化と品質管理の進め方
2. 品質管理活動の推進と作業標準
3. QCC的問題解決による不良・クレームゼロ化の推進

【演習】

「不良・クレーム発生の原因追求と対策」について、学科で学んだ手法を使って原因追求し、対策案をまとめる演習を実施する。

【応用・実践要素】

ISO9001:2015 品質マネジメントシステムの品質保証・品質管理運用について事例を交えて紹介する。

※ 9:30～16:30 開催（昼休憩 1 時間）

受講料：5,000 円(税別) 場所：(株)徳島健康科学総合センター

「提案型営業手法」 11/7、8

【基本項目】

1. 提案型営業とは
2. 顧客ニーズと自社商品・サービスの強み分析

【演習】

顧客とはだれかを知るための分析作業、ストーリー性のある提案シナリオ作成演習、面談ストーリーにもとづくロールプレイングを行う。

他、【応用・実践要素】あり

※ 9:30～16:30 開催（昼休憩 1 時間）

受講料：5,000 円(税別) 場所：徳島職業能力開発促進センター

定員になりしだい受付終了です。

【お問合せ先】徳島職業能力開発促進センター
(生産性向上人材育成支援センター)
TEL 088-655-3712



編集 後記

◆第148号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

◆特集では、「2018年版中小企業白書のポイント」について紹介させていただきました。特集の詳細については、中小企業庁ホームページをご覧ください。

◆今回「ものづくりの達人」コーナーでは、ダイカテック株式会社様を訪問させて頂きました。従来の製品概念に捉われることなく、チャレンジ精神の旺盛な社内風土があることが、様々な分野で大手製造事業者との取引している実績につながっていると感じました。市場や取引先からのニーズと、技術の研究のどちらも重視していることにより独自技術が確立されており、日々実践されている姿に感銘を受けました。この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

◆テニススクールで運動することにはまっています。自分自身でスイングフォームや筋力や姿勢を調整することに向き合う楽しさもありますが、実際に相手と打ち合うことでのコミュニケーションやゲーム性といった楽しみもあります。元来飽き性な私ですが、半年は続けられています。これからも無理せずに続けられるよう、1つ1つ楽しみながらやっていきたいです。最近、錦織圭選手や大坂なおみ選手の活躍もあり、ニュースでテニス関連の話題が増えたのも楽しみです。

vol. 02
平成30年度 第2号
(年間4回発行 通巻第148号)

組合活性化情報 中央会とくしま



丈六寺 三門 水彩画/布川 嘉樹